

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

福知山市長 大橋 一夫

市町村名 (市町村コード)	福知山市 (201)
地域名 (地域内農業集落名)	東部 雀部(川北、前田、土師、土師新町南) 西中筋(観音寺、興、石原、土、戸田) 佐賀(印内、報恩寺、私市、塚、山野口)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月9日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・豪雨時に冠水する耕作地は畑作に不向きであるため、水稻栽培が中心となっている。
- ・農薬/肥料/電気代/農業資材の高騰、農機具の高価格化、改良区の賦課金の値上げなどにより必要経費が増えて、利益増加が期待できない。
- ・高齢化や後継者不在による離農発生時に、農地管理委託先を探しても見つからず荒廃している。
- ・農業従事者が減少する状況で農地維持の要である認定農業者や営農組織の存続などについて方針を決め、地域として協力する必要がある。
- ・地主不在農地を荒地にせず活用するために、農地情報を共有することが必要である。
- ・将来も農地を維持するためには、農業従事者が安定して収入を得ることが重要である。高い生産性のため機械化を推進する。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・農地が耕作放棄されることが無いよう、農地情報の共有と耕作放棄防止施策の創造をする。
- ・移住者や新規就農者などの受入体制が整っており、地域内外の農業希望者に「この地域で就農したい」と思ってもらえる地域。
- ・農業で安定した収入があり、専業農家のある地域。
- ・地域住民は「農地は人の食を支えるもの」ということを理解し、協力して農地を守り活用する。
- ・学校や地域で農業に関する教育が充実しており、農業を地域の関心事の一つとしている。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	491 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	335 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	--- ha

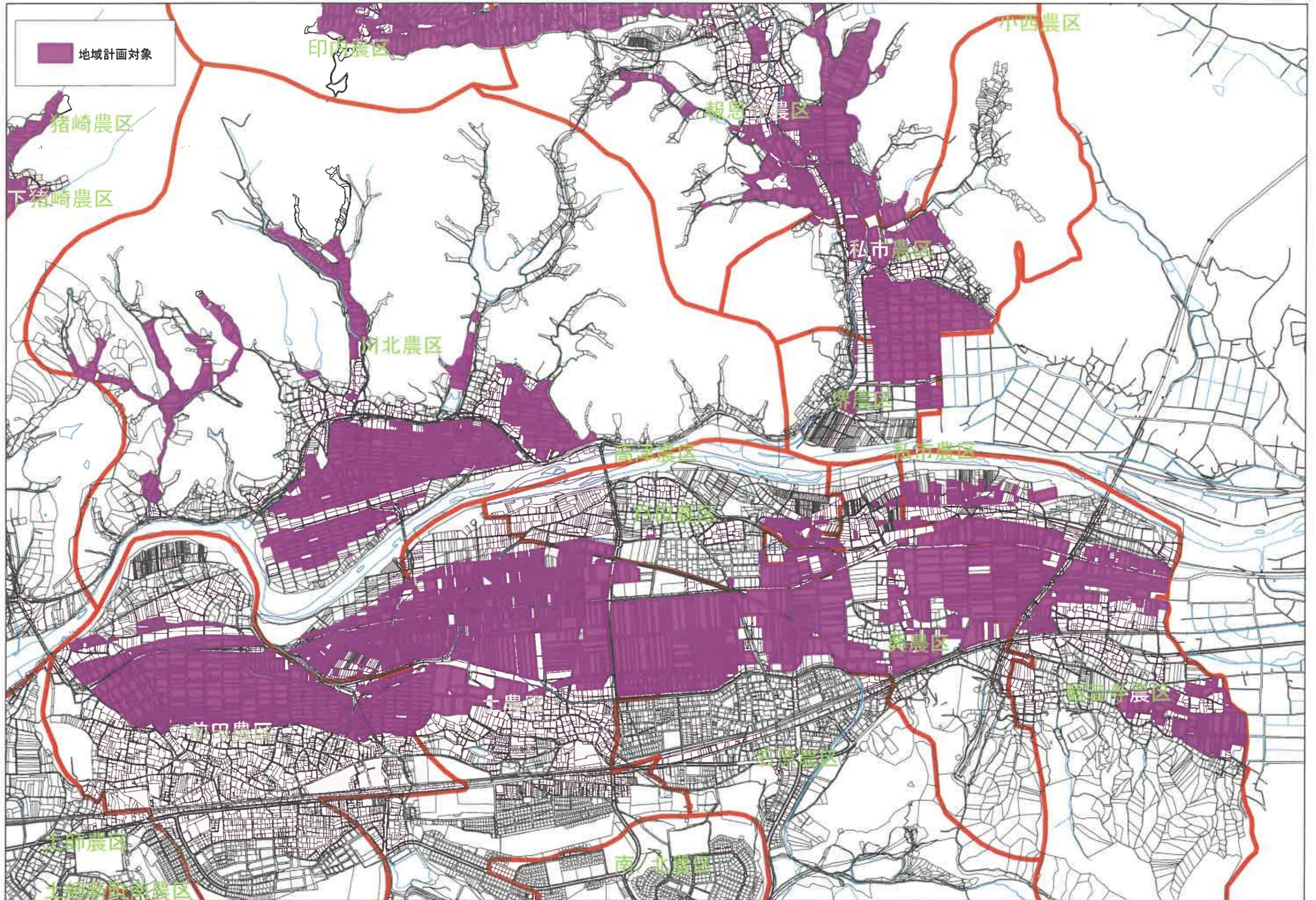
(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

【農用地の区域】農振農用地(耕作不可地を除く)および、地域が地域計画対象と判断した農地(中山間・多面的交付金の対象農地を含む)
【協議場、参加者】農業委員、農地利用最適化推進委員、農区長

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

目標地図 東部A

1:15,000



目標地図 東部B

1:15,000

